

教科(科目)	国語	総時数	175 時間	学年(コース)	3 学年
使用教科書	国語3（光村図書）				
副教材等	『中学必修テキスト』、『新中学問題集国語標準編』、『漢字ノート』、『用言徹底ワーク』				

### 1 学習目標

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- ・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

### 2 指導の重点

- ① 課題解決のために対話活動を取り入れ、主体的に探求する態度と能力を育てる。
- ② 作文やスピーチなどの表現活動を充実させることで、自分の考えを表現する力を育てる。
- ③ 日々の漢字や語句の学習を継続することで、語彙を豊かにするとともに、漢字検定4級の取得を目指す。

### 3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	言葉に出会うために	学習ガイダンス 世界はうつくしいこと	・国語を学ぶ意義、学習の仕方を理解する。 ・詩の音読を通して言語感覚を豊かにする。	7	授業態度
5	1 深まる学びへ	握手 学びて時に之を習ふ 熟語の読み方	・小説を読み、展開の仕方や人物像を捉える。 ・漢文を読むことを通して、孔子やその言葉について理解し、自分の考えを深める。	19	授業中の活動 ワークシート 定期考査
6	2 視野を広げて	作られた「物語」を超えて 説得力のある構成を考えよう 文法への扉1	・論説を読み、論理の展開を捉え、その展開の仕方について評価する。 ・主張文を書き、その発表をする。	19	授業中の活動 ワークシート 定期考査
7	3 言葉とともに	俳句の可能性 俳句を味わう 和語・漢語・外来語	・俳句を読み、表現の仕方を評価し、構成を工夫しながら俳句を創作する。	17	授業中の活動 ワークシート 定期考査
8	読書生活の豊かに	読書を楽しむ	・小説を読むことを通して、自分の考えを深める。	7	授業中の活動 ワークシート 定期考査
9	4 状況の中で	挨拶 故郷 慣用句・ことわざ・故事成語 漢字の造語力	・詩を読んで、表現の仕方を評価し、自分の考えを深める。 ・小説を批判的に読み、作品を批評する。	17	授業中の活動 ワークシート 定期考査
10	5 自らの考えを	人工知能と未来 人間と人工知能と創造性 初恋	・複数の論説を比較しながら読み、批判的に読むことを通して、自分の考えを深める。 ・詩を読んで、表現の効果を考える。	17	授業中の活動 ワークシート 定期考査
11	6 いにしえの心を受け継ぐ	和歌の世界 古今和歌集仮名序 君待つと 夏草	・和歌を読んで、古典の世界に親しむとともに、表現の効果を考える。 ・古人の思いに触れ、自分の考えを深める。	19	授業中の活動 ワークシート 定期考査
12	7 価値を生み出す	誰かの代わりに 漢字のまとめ 文法への扉2	・論説を読み、自分の考えを深める。	15	授業中の活動 ワークシート 定期考査
1	読書に親しむ	本は世界への扉	・読書を通して、自分の考えを深める。	6	授業中の活動 ワークシート 定期考査
2	8 未来へ向かって	温かいスープ わたしを束ねないで	・随筆を読み、自分の考えを深める。 ・詩を読み、自分の考えを深める。	13	授業中の活動 ワークシート 定期考査

3	古典文法（用言の活用） 文集づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典文法における用言の活用について理解する。</li> <li>・前期課程の学びを文集にまとめる。</li> </ul>	19	授業中の活動 ワークシート 定期考査
---	----------------------	--	----	--------------------------

計175時間（50分授業）

#### 4 課題・提出物等

・漢字ノート、必修テキストを中心に授業の進度に応じて課題として提示します。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度
知識・技能	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	主体的に学習に取り組む態度
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重する姿勢が身に付ようとしている。	目的や場面に応じ、適切に話したり話し合ったりして、自分の考えを豊かにしている。	相手や目的、意図に応じ、筋道を立てて文章を書いて、自分の考えを豊かにしている。	目的や意図に応じ、様々な文章を読んだり読書に親しんだりして、自分の考えを豊かにしている。	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やさまじり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく整えて速く書いている。
以上の観点を踏まえ、①授業の取組、②課題の提出状況などから、総合的に評価する。				

#### 6 担当者からの一言

国語の学習は「実技教科」と心得てください。「話す」「聴く」「書く」「読む」それらの活動を、授業の中で全力で取り組んで、それらができるように技術を身に付けることが大切です。受け身の態度ではなく、積極的な活動が学力の向上につながります。

(担当：高野)